

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 030	提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会
要望問題名 ブドウの大粒種における豪雨後のジベレリン再処理の目安について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 近年、気象変動の中で、突然の豪雨がしばしば見られる。 ジベレリン処理後の降雨に伴う再処理の目安についてはいくつかの情報はあがるが、大粒種のジベレリン処理後に最近見られるような豪雨があった場合は、過去とは異なる状況となる可能性もあり、不安に思う生産者も多い。そこで、改めて、近年の豪雨も含めて、ジベレリン再処理の目安について検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備 考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 大粒種ブドウである‘ピオーネ’、‘巨峰’におけるジベレリンの再処理基準が備考に挙げた資料に記載されていますので参考にしてください。 処理の基本として、降雨による再処理の必要が無いように、晴天時に処理を実施することや、2回目の処理後はすぐにカサかけを実施するなどが望ましいと考えられます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考 農業技術体系果樹編第2巻 植物調整剤利用の基礎 ジベレリン利用の基礎 P技+171～180(2011年執筆) 植物成長調整剤の利用の実際 ピオーネ, 巨峰 P技+204の6～9, 10～15(2011, 2018年執筆)			